

社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 23 年度 第 5 回理事会議事録

日 時：平成 23 年 9 月 21 日（水）

台風 15 号が首都圏を直撃したため、事務所での理事会開催を中止とし、メールにて開催となった。

審議事項については、書面審議とした。

1. 理事行動報告

7 月 25 日（月）	学術部会	千葉，小松，荒木，蝶名林
7 月 26 日（火）	データ標準化・精度管理調査委員会	荒木
8 月 1 日（月）	渉外部会	真鍋，栗田
8 月 1 日（月）	情報システム運営委員会	高城，鈴木
8 月 3 日（水）	四役会	下田，千葉，小松，藤浪，真鍋，原田，水越，鈴木
8 月 4 日（木）	会計部会	鈴木，水越
8 月 23 日（火）	役員選出委員会	工藤
8 月 26 日（金）	編集部会	高城，八木
9 月 1 日（木）	組織部会	原田，杉岡，寺島，多田，永瀬，栗田
9 月 1 日（金）	情報システム運営委員会	高城，鈴木
9 月 6 日（火）	渉外部会	真鍋，栗田
9 月 6 日（火）	表彰選考委員会	伊藤，（千葉，小松）
9 月 9 日（金）	会計部会	鈴木，水越
9 月 13 日（火）	役員選出委員会	工藤

2. 報告事項

1) 平成 23 年度第 4 回理事会議事録についての内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

- ・会員調査に関して
一般会員の調査終了，自宅会員の調査を行い名簿への掲載可否の確認を行う
- ・日臨技助成金事業に関して
ガンに関して中部地区が担当し事業を行う
- ・来年度予算に関して
9 月 7 日の予算委員会へ第一次案として作成し提出した
来年度は各地区で学術とタイアップし研修会を行う方向で学術部と調整を行う
- ・都臨技学会に関して
組織部として次の 2 演題を予定している
 - 1) DMAT での活躍（東京医大病院 上道技師長へ打診し快諾いただいた）
 - 2) 被災地などでの自衛隊の活躍に関して（多田理事と調整中）
- ・各地の健康まつりに関して
同一機種の借用に際し地区間で借用金額が異なるため調整を行っている

<東部地区>

- ・江戸川区民まつり 10 月 9 日（日） 血管年齢測定を予定
- ・江東区民まつり 10 月 16 日（日） 血管年齢測定を予定

<西部地区>

- ・西部地区レクレーション バーベキュー
日時：平成 23 年 10 月 23 日（日）10:00 ～
場所：若洲公園キャンプ場 もしくは葛西臨海公園バーベ Q 広場で調整中

<南部地区>

- ・親睦会 8 月 26 日（金）のバーベキューは大雨のため中止となった

- ・大田健康まつり 10月23日(日) 血管年齢測定, 尿検査定性検査を予定

<北部地区>

- ・特記事項なし

<中部地区>

- ・大新宿まつり 10月16日(日) 血糖測定予定・乳がん触診モデルのデモ

<多摩地区>

- ・稲城市健康まつり 10月9日(日) 骨密度測定を予定
- ・小平市民まつり 10月16日(日) 血管年齢測定を予定

【検討事項】

- ・特記事項なし

○渉外部

【報告事項】

- ・渉外部学生対象講演会について
日時:平成23年7月16日(土) 14:00~16:10
場所:社会保険中央総合病院 講堂
テーマ:「チーム医療で活躍する検査技師」
参加者数:191名(学生173名、会員18名)
- ・平成24年度渉外部事業(予算)について
次年度の新規事業計画は思い当たらないため,今年度同様に計画する
平成25年度は他団体と協力して勉強会を行うなど時間をかけて計画する提案があった
- ・都臨技学会について,渉外部が担当する企画案
 - ①危機管理についての講演
 - ②災害時当日の都内病院の状況について,アンケートをとりまとめる
 - ③STI予防活動の報告(12月の公開講演会で行う案も出ている)
 - ④シンポジウム形式で,他団体が震災現場に向いてどのような支援をしたのか講演していただく
この中で,渉外部では次のような内容のシンポジウムを開催することになった
各団体で震災現場に行って支援活動をしたことについて話していただく.講演時間は1人20分~30分.
4団体くらいを予定.講演依頼は打診中.
- ・日臨技国民健康増進委託事業について
STIについてはSTI予防委員会で企画し,渉外部で運営することとした
日時:平成23年12月3日(土)公開講演会を開催予定である
会場:中野サンプラザ7階 研修室7
講師:澤村正之先生(新宿さくらクリニック院長)
広報:中野区報やケーブルテレビでの告知など利用する案がある
- ・東京都民主党議員への挨拶について
都臨技で行っているSTI予防教室について資料を提示して説明した
- ・渉外部固定資産について
看護フェスタで使っている折りたたみ椅子2脚のみ(但し,対象を再度確認する必要がある)
- ・看護フェスタの報告について
看護協会より看護フェスタ開催の報告が掲載された看護協会発行の冊子が届いた

【検討事項】

- ・特記事項なし

○学術部

【報告事項】

<公衆衛生検査研究班>

- ・平成23年6月30日(木) 「メンタルヘルス 診断から治療まで」
総参加者数:30人(会員24人 学生6人)

<血液検査研究班>

- ・平成23年7月28日(木) 「血液像をみる上で知っておきたいこと基礎知識」開催予定

<免疫血清検査研究班>

- ・9月に研修会を開催予定

<生理検査研究班>

- ・平成 23 年 6 月 30 日（木） 「技師に必要な睡眠検査の知識と技術」
総参加者数：104 人（会員 99 人 非会員 1 人 学生 4 人）

<微生物検査研究班>

- ・平成 23 年 7 月 15 日（金） 「話題の耐性菌と検査法シリーズ(4) 各種耐性菌」
総参加者数：94 人（会員 85 人 学生 2 人 その他 7 人）

<病理細胞診検査研究班>

- ・平成 23 年 7 月 21 日（木） 「泌尿器の細胞診」
総参加者数：53 人（会員 40 人 非会員 1 人 学生 12 人）

<輸血検査研究班>

- ・平成 23 年 7 月 31 日（日）に実技講習会を開催予定

<臨床化学検査研究班>

- ・平成 23 年 7 月 2 日（土）
千葉県主催、埼玉県・東京都共催の研修会が墨東病院で開催され 200 名以上の参加があった
- ・平成 23 年 7 月 22 日（金） 「新たな標準採血法ガイドライン（G P-A 2）の改訂点」
総参加者数：29 人（会員 29 人）

<臨床検査情報システム研究班>

- ・10 月の研修会は 3 月中止となった内容で行う予定である
- ・臨床化学と合同で行う実技講習会は、年明け行うように調整中

<一般検査研究班>

- ・平成 23 年 9 月 15 日（木） 「血管炎症候群と腎障害」開催予定

<関連事項>

- ・生涯教育制度について
特記事項なし
- ・データ標準化事業について
日臨技調査と同様に Web 方式で申し込みを実施する
委員会にて案内文・実施要綱を発送する施設を選別し、8 月末を締め切りとして参加募集を開始する

【討議事項】

- ・研修会アンケート調査結果入力について
アンケートの入力に関して、事務員の方に長期で担当してもらうのは実務として問題ではないかとの指摘を受けたが、中期検討委員会からの依頼で行っているアンケートなので事務員にお願いしても問題ではないとの意見があり、四役会に諮ることになった
- ・事業計画について
重点課題として、何かに特化して計画する方向性を思案したいとのこと
部長より「間違いのないデータ報告に向けて（精度保証）」をテーマに検体検査部門合同で行ってはどうかとの提案がなされた。これを踏まえて早急に事業計画を進めたい
- ・大震災に関する支援について
9 月より 2～3 名の理事が支援金集めに出席し、研修会の最後に出席理事が説明をして二役の説明は今後行わない方向で実施したい
- ・共催・講習会の許可願い書について
輸血研究班の共催許可願い書において、共催メーカーの賛助会費が未納であった。但し 8 月中旬に振込が確約されたので理事会では条件付で共催が承認された。
今後、内規に共催メーカーは 2 ヶ月前までに賛助会費が入金されていることを盛り込むことを検討する。
また、なるべく研修会日程が重ならないように設定してほしいとの要望があり、各研究班に配慮して頂くようお願いをした
- ・都臨技学会について（平成 24 年 2 月 19 日京王プラザホテルにて）
千葉学会長より学会運営についての説明を頂いた
8 月 22 日（月）19:00 から企画委員会開催を取り決めた
- ・都臨技学会のあり方委員会について
学会長推薦委員会を設定し、学会長を決める方向性が出された。答申がまとまった時点でお知らせする。

○編集部

【報告事項】

- ・8月号会誌について
90ページにて予算を立てているが20ページほど少なかった
論文投稿規定は掲載しない代わりに、会誌の特集・シリーズ・要旨等の原稿を書いて頂く際の決まり事である「都臨技会誌原稿規の決まり」を掲載したので内容を確認する
- ・11月号会誌について
施設紹介は、伊藤病院とし依頼書を出すこととした
科捜研に依頼したシリーズは入稿済みである
特集（公衆衛生）は兵庫県が会誌に掲載した災害震災マニュアルを編集し掲載する予定である
表紙には東日本大震災の写真を探し掲載することとした
病理の投稿論文は査読委員が内容を検証中である
- ・第8回東京都医学検査学会について
都臨技創立60周年式典 日時：平成24年2月17日（金）開催予定
第8回東京都医学検査学会 日時：平成24年2月19日（日）開催予定
学会に関しては先月の予定通りお知らせと目次のみの掲載とする
- ・会誌の増刷について
8月号の特集を担当した栄研化学株式会社から別冊の増刷依頼があった
- ・情報システム運営委員会報告
8月号に会員向けメールインフォメーションサービス開始のお知らせを折込で入れた結果50名ほどの登録があった
- ・特集および投稿論文の別冊は依頼の有無にかかわらず50部作成することとし、企業に依頼した場合は増刷するか否かは校正時に確認することとした。また、別冊が不要と連絡が入ったときは、担当編集委員が研修会で配布するなど対応することとした
- ・シリーズの別冊についても注文があれば依頼者の実費負担にて依頼を受けることとした

【検討事項】

- ・今後、編集部からのお知らせを会誌へ掲載するか検討することとした
- ・2月号にシリーズを2題掲載するか検討することとした
- ・8月号に掲載した「都臨技会誌原稿規の決まり」を11月号以降掲載するか検討することとした

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成23年8月31日現在）
会員数 4,049名 賛助会員数 70社
- ・新入会員申請のあった92名が確認された

○会計部

【報告事項】

- ・平成23年7月および8月の収支計算書、予算管理月報、他2表ずつを作成・報告
- ・平成23年度会費未納について8月31日現在158名
- ・平成23年7月および8月のおもな事業活動収支について
収入：事業収入（機関誌広告費）
支出：臨検啓発（会員名簿調査票発送費）、管理費
- ・退職金引当てについて
一般法人の場合、必要がるとの指摘もあり確認することとした
- ・日臨技助成金について
予算額を大幅に上回ることとなり、会計上の処理を検討することとした
運営資金取り崩しによる収入との相殺についても検討する
- ・中間監査について
事務局へスケジュール調整を依頼した
- ・平成23年度後期仮払い
10月17日（月）18日（火） 19:00から事務所にて行う

○事務局

【活動報告】

- 8月2日(火) 弔電対応(故人 高橋勝幸氏)
- 8月23日(火) 弔電・生花対応(故人 伊藤機一氏)
- 8月25日(木) 都議会民主党ヒアリング資料準備
- 9月9日(金) 東京都公益法人係(オザワ様)へ法人移行スケジュール連絡

3) 各委員会報告

○表彰選考委員会

【報告事項】

- ・第4回委員会議事録の確認
- ・厚生労働大臣表彰について
都臨技から推薦を行った両氏の受賞が決定したとの通知が東京都庁から届いた
安部 信行 氏(東邦大学医療センター大森病院)
福田 高久 氏(日本医科大学付属病院)

【検討事項】

- ・第40回医療功労賞(平成23年度)候補者の推薦準備について
この賞の推薦について、重度障害者医療、僻地医療、いわゆる困難職場に15年以上携わった者等の条件を満たす会員が国立療養所多摩全生園に該当者がいることを確認
応募締切が迫っているため、9月16日の理事会に書類の確認が間に合えば、26日までに応募する間に合わなければ、来年度へ向けて継続して準備をすることとする
- ・第47回2012年(平成24年度)小島三郎記念技術賞および第31回2012年(平成24年度)福見秀雄賞について
両賞の推薦依頼が例年12月初旬に当会へ届いている事から、推薦準備をする
小島三郎記念技術賞については、学術研究班へ依頼を行う
福見秀雄賞について、表彰選考委員会から1名提案されたので委員長よりお声かけをして戴くこととする
- ・各賞受賞候補者の発掘と推薦準備について
各賞該当者の発掘に協力していただけるように、表彰対象の内容を簡略化して理事・研究班班長に配布する
対象者の氏名を記載していただくように資料を準備する
- ・平成23年度新春のつどいの各賞受賞者推薦について
前回より会員であれば他団体の表彰であっても授賞式に招待している
今回も各学会の表彰の情報収集を行う
- ・当会永年会員について
来年度永年会員の対象者は6名の予定である。リスト作成し、確認後理事会に提出する

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事(7月)
都臨技研修会 6件 登録者数 521名 該当者なし 0名
- ・申告(7月)
会場研修 11件 登録者数 54名
- ・生涯教育対象行事(8月)
都臨技研修会 1件 登録者数 30名 該当者なし 0名
- ・申告
会場研修 3件 登録者数 9名

○情報システム運営委員会

- ・都臨技会員証発行について
カード発行プリンターのデモ、カーデックス社に委託して会員宛の会員証発行など会員管理と合わせて検討を進める。予算との関係で早急に方針を固める必要がある
- ・会員管理システム

生涯教育の運用について未確定事項が多く残るが、平成24年度も事業継続する方向で進める。現在使用しているPDAに代わる、PCとバーコードリーダーを準備する必要があり、予算委員会の議題に挙げる

○STI 予防委員会

<各地区 STI 予防教室の報告と今後の予定>

- ・各地区の予防教室実施実績

西部地区：日大櫻丘高校（6月18日）
 北部地区：日大豊山女子高校（7月12日）
 都立練馬工業高校（7月14日）
 南部地区：大森学園高校（7月8日）
 都立芝商業高校（7月15日）

概ね内容については各校とも好評であった。アンケートをとった高校については集計次第報告する。

- ・今後予定されている STI 予防教室

9月1日（木）東京電子専門学校 14:30～16:00頃
 講師（予定）：佐藤，宮後，森 3名トータル80～90分程度
 サポートスタッフ：東部地区 浅野幹事
 スライド：専門学校生向けに内容を少し難しくする
 感染者数統計，STI 検査法，治療法など一歩突っ込んだ内容を検討する

11月～12月 安田学園（東部地区）男子校
 日程など細かい内容等については今後打ち合わせを行う予定
 12月3日の午前中に行う案もあり（午前予防教室，午後公開講演）

- ・委員会開催以降，科学技術学園高校の STI 予防教室（東部地区）依頼があったため，詳細は東部地区で打ち合わせを進めてもらっている

<日臨技国民健康増進委託事業 エイズ週間公開講演について>

日時：平成23年12月3日（土）公開講演会を開催予定である
 会場：中野サンプラザ7階 研修室7
 講師：澤村正之先生（新宿さくらクリニック院長）

もう一題は，アボットに依頼する予定で澤村先生の演題と重複しないような内容を検討（STI 全般の基礎など）

3. 審議事項（台風の影響によりメールにて開催，書面審議となった）

○議長と議事録署名人

- ・第5回理事会の議長に下田会長，議事録署名人に栗田理事と工藤理事が選出された
- ・審議内容の詳細は割愛

—メール審議回答書—

回答締め切り 9月28日（水）議長を除く19名回答 有効投票19名

審議事項	具体内容	決	継続	否
①渉外部	STI予防教室 岩手県技師会への援助について		継続	
②学術部	臨床検査データ標準化委員会運営内規(修正案)について	条件		
④庶務部	新入会員92名の承認について	決		
⑤後援名義使用	超音波スクリーニング研修講演会2011有明	条件		
	日本ポリソムノグラファー研究会	決		
⑥特別講習会許可	生理検査研究班(10月7日ラダーグラム)	条件		
	生理検査研究班(10月14日ペースメーカー)	条件		
⑦共催許可願	免疫血清研究班(11月17日)	決		

上記のとおり，書面審議により決しました。個々の意見をもとに，継続案件は次回の審議案件(事前に必要な資料を添付)とし，条件付きの承認については次回に結果を報告(書面)のこと。

平成23年9月28日（水）
 (社)東京都臨床検査技師会

議長 下田 勝二 印

議事録署名人 栗田 千恵美 印

議事録署名人 工藤 岳秀 印